

FCB-KM

***STIHL***



2 - 17      取扱説明書



兼前編の紙に用  
紙は二サイル可

STIHL は、STIHL 純正のツールとアクセサリのご使用をお勧めします。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

© ANDREAS STIHL AG & Co. KG 2023  
0458-471-4321-B, VA0.F23.

エッジャーのデフレクターは、ブレードから飛散するすべての物（石、ガラス、ワイヤーなど）から作業者を保護することはできません。これらの物はどこかで跳ね返り、作業者に当たる可能性があります。

安全性が損なわれる可能性がありますので、いかなる方法でも機械を改造しようとししないでください。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

### 3.1 衣服と装備

規定に沿った衣服と装備を身に付けてください。



衣服は、適切なもので、作業の妨げにならないことが必要です。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたコンピスーツの作業服を着用してください。

枝、藪、機械の可動部などに引っかかるものを、身に付けしないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具を身に付けしないでください。長い髪はまとめて、肩より上になるように固定します。



靴底が滑りにくく、鋼鉄製トウキャップがついた保護ブーツを履いてください。



**警告**



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 規格（カナダは CSA Z94）に準拠したしっかりとフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが正しくフィットしていることを確認してください。

「自分専用」のイヤーマフ（聴覚保護具など）を着用してください。

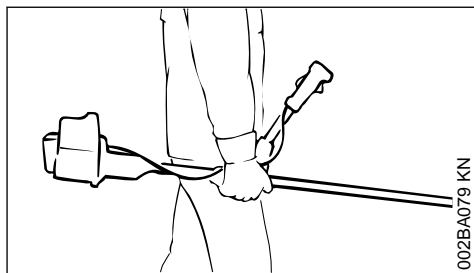
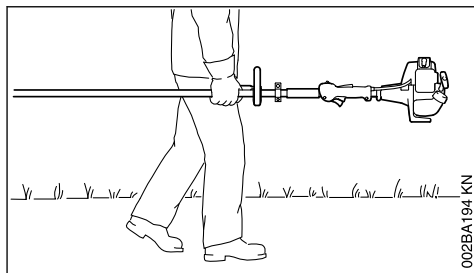
フェイスマスクを使用し、正しくフィットしていることを確認してください。フェイスマスクだけでは、目を十分に保護することはできません。



耐久性の高い素材製（革など）の作業用手袋を着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

### 3.2 パワーツールの運搬



必ずエンジンを停止してください。

パワーツールはシャフトでバランスを取って、カッティングツールが前向きになるように持ち運びます。

高温の機械部品には触れないでください - **火傷する危険があります！**

車両を使用して運搬する場合：転倒、破損、燃料漏れを防ぐために、パワーツールを適切に固定してください。

### 3.3 始動前

パワーツールが操作の安全性を確保できる状態であることを確認します - コンビエンジンとコンピツールの取扱説明書に記載されている関連項目を参照してください：

- ブレード：正しく取り付けられ、確実に固定され、完璧な状態（清潔、滑らかに動作、変形なし）であること
- 防護装置に損傷や磨耗がないか点検します。デフレクターが損傷している機械は使用しないでください - 損傷している部品は新品に交換してください。
- 操作部や安全装置に改造を加えないでください - 操作をする時は必ずデフレクターを着装してください。
- ハンドルはオイルや汚れが付着していない清潔で乾いた状態に保ちます - これはパワーツールを安全に操作するために重要です。
- 身体の大きさに合わせてハーネスとハンドルを調整します。

パワーツールは、操作の安全性が確保されている状態でのみ操作することができます－**事故の恐れがあります！**

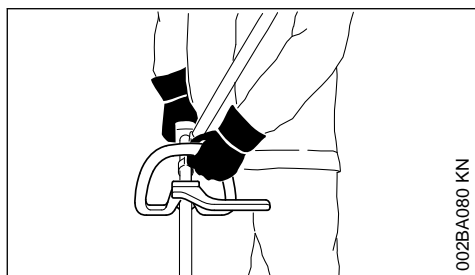
ハーネス使用中に緊急事態に備えて：機械を素早く取り外す練習をしてください。この練習中に機械を地面に投げ下ろして損傷しないようにしてください。

### 3.4 機械の保持と操作

常にしっかりと安定した足場を確保してください。

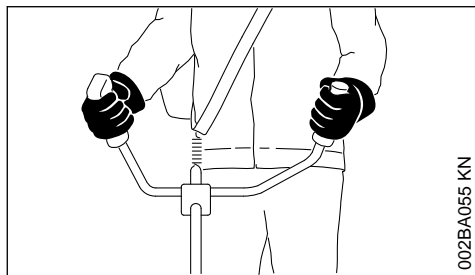
必ず両手でパワーツールのハンドルを保持します。

#### 3.4.1 ループハンドル付き仕様の場合



ループハンドルとバー（バリアバー）付きループハンドルが装備された仕様の場合、コントロールハンドルを右手で、ループハンドルを左手で握ります（左利きの場合も同様）。

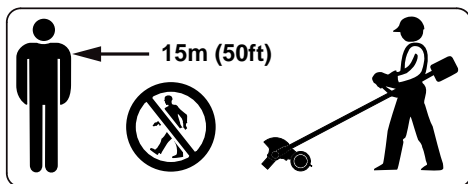
#### 3.4.2 バイクハンドル付き仕様の場合



コントロールハンドルを右手で、ハンドルバーのハンドルを左手で握ります。

### 3.5 作業中

差し迫った危険や緊急事態が発生した場合は、スライドコントロール / 停止スイッチ / 停止ボタンを 0 または STOP にセットして直ちにエンジンを停止します。



使用場所の半径が広いと、物が飛散して事故につながる恐れがあるため、半径 15 m 以内には人が立ち入らないようにしてください。他の物体（車両、窓）からもこの距離を保ってください－**物的損害が生じる危険があります！** 15 m 以上離れていても、危険を排除することはできません。



ブレードに触れないでください－**ケガをする危険があります！**

スロットトリガーを放した時にブレードが動かないように、エンジンが正しくアイドルリングしていることを確認してください。アイドルリング調整を定期的に点検および修正してください。それでもアイドルリング中にブレードが動作する場合は、サービス店に点検と修理を依頼してください－コンビエンジンの取扱説明書を参照してください。



機械とカッティングツールに適切なデフレクターを装着せずに作業することは絶対にお止めください－**飛散物によりケガをする危険があります！**



動作中はギアが熱くなります。ギアハウジングに触れないでください－**火傷する危険があります！**

滑りやすい場所、濡れた地面、雪、傾斜や凸凹のある地面などに注意してください－**スリッパする危険があります！**

切り株、根などの障害物に注意してください－**つまづく危険があります！**



敷地を確認してください：石や金属部品などの固い物が半径 15 m を超える範囲でも飛散する可能性があります－**ケガをする危険があります！**－カッティングツールならびに物（駐車車両、窓ガラスなど）を損傷する可能性があります（物的損害）。



ケーブルまたは電線が地表の上または真下に敷設されている場所では、絶対に作業しないでください－**感電する危険があります！** コンビツールでそれらに触れたり、傷付けたりすると、生命を脅かすような怪我または致命傷を負う危険があります。

常にしっかりと安定した足場を確保してください。

全体を見渡すことができない敷地、密生している敷地での作業には特に注意をしてください。

イヤープロテクター（聴力保護具）を装着している場合は、より高い注意力が必要です - 危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなります。

疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください - **事故の恐れがあります！**

日中、十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないように慎重に作業します。

エンジンがかかっているときは、ブレードに触れないようにしてください。ブレードに障害物が挟まった場合、障害物を取り除こうとする前に、直ちにエンジンを停止してください - **ケガをする危険があります！**

ブレードがブロックされた状態で、同時にエンジンを加速させると負荷が増加し、エンジンの作動速度が減少します。これにより、クラッチが連続的にスリップして過熱状態になり、重要な機能部品（クラッチ、プラスチック製ハウジング部品など）の損傷につながります - その結果アイドリング時に作動しているブレードなどによって**ケガをする危険があります！**

パワーツールに、設計強度を超える異常な負荷（激しい衝撃や落下など）がかかった場合は、作業を続ける前に操作の安全性を確保できる状態にあることを必ず確認してください - 「始動前」の項目も参照してください。特に、安全装置が正しく機能していることを確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、絶対に作業を続けしないでください。ご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

ブレードは、短い間隔で定期的に点検し、顕著な変化が生じた場合には直ちに点検してください：

- エンジンを停止し、機械をしっかりと保持し、ブレードを芝生に押し付けブレーキをかけます
- 状態としっかりと固定されているかどうかを確認し、ひび割れに注意します
- たとえ小さな亀裂であっても、損傷したブレードは直ちに交換してください

作業中もカッティングツールとデフレクターの領域を定期的に清掃してください。

- エンジンを停止します
- 手袋を着用してください
- 芝、雑草、付着した土（泥の塊！）などを取り除きます

カッティングツールの交換時はエンジンを停止してください - **ケガをする危険があります！**

損傷や亀裂のあるブレードを使い続けたり、溶接や矯正などで修理したりしないでください - 形状の変化（不均衡）が発生します。

粒子や破片が剥がれ、操作者や第三者に高速で直撃する可能性があります - **重傷を負う危険があります！**

回転する金属製カッティングツールが石や他の硬い物に当たると、火花が発生し、状況によっては引火性の高い材料に引火する恐れがあります。また、乾燥した植物や灌木は、特に高温で乾燥した気象条件では非常に燃えやすくなっています。火災の危険がある場合は、引火性の高い材料、乾燥した植物や灌木の近くで金属製カッティングツールを使用しないでください。火災の危険があるかどうか、管轄の林野庁に必ず確認してください。

### 3.6 作業後

作業終了後または本機から離れる前にエンジンを停止してください。

作業終了後、カッティングツールから、埃、汚れ、土、植物の破片を定期的に取り除いて清掃してください - その際必ず手袋を使用してください - **ケガをする危険があります！**

洗浄にはグリース溶剤を使用しないでください。

金属製カッティングツールの表面は、十分に清掃した後、防錆剤を塗布してください。

### 3.7 整備と修理

定期的に本機を整備してください。コンビツールおよびコンビエンジンの取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

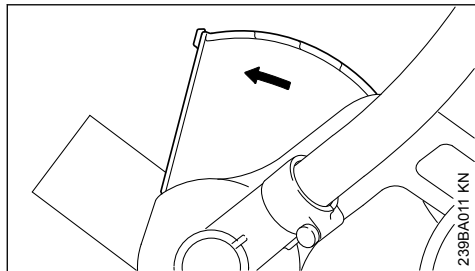
当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、スチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するため、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください。**

### 3.8 カuttingアタッチメント およびデフレクター



デフレクターの矢印は、ブレードの回転方向を示しています - 「本機の使い方」を参照してください。

エッジャーは、スカートがデフレクターに適切に取り付けれた状態でのみ操作してください - 「スカートの交換」を参照してください。

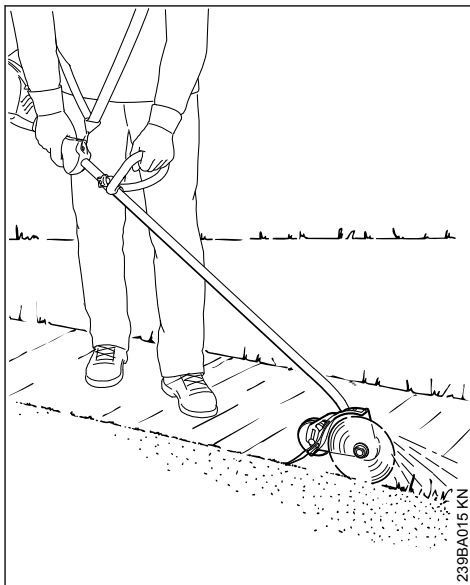
ブレードは適切に取り扱ってください - 「本機の使い方」を参照してください。

最適な切断性能：フルスロットルおよび一定の圧力。

当社はスチール純正ブレードのご使用をお勧めします - 「特殊アクセサリ」の項を参照してください。

STIHL が本機での使用を承認した、または技術的に同等のデフレクターやアタッチメントのみをご使用ください。

## 4 本機の使い方



エッジャーは、緑地端部の角をトリミングするのに適しています。このツールによって、ほぼすべての種類の草、雑草または植物を刈ることが出来ます。

### 4.1 準備

作業面が非常に乾いている場合には、軽く水を撒きます：これによって土がやや柔らかくなり、ほこりが舞い上がりにくくなります！ - 植物はやや湿った状態の方が切りやすくなります。

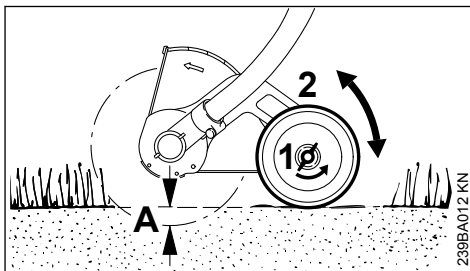


**警告**

作業範囲にある障害物や異物はすべて取り除きます。

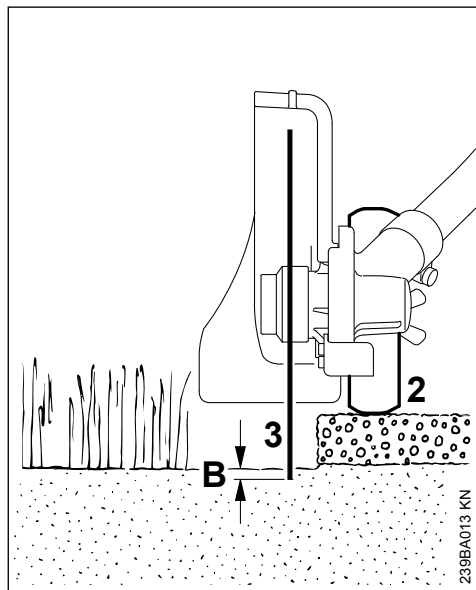
- ▶ 刈込の進行方向を決めます - 機械は常に身体の右側で操作してください。

### 4.2 切込み深さの設定



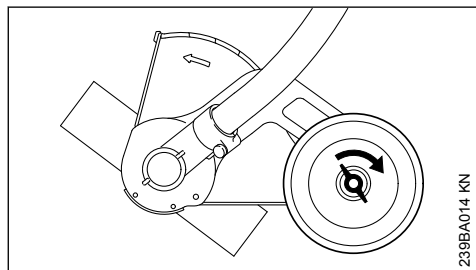
- ▶ エンジンを停止します
- ▶ ウイングナット (1) を反時計回りに回して緩めます
- ▶ ホイール (2) 上へずらす - 切込み深さ (A) が大きくなります。下へずらす - 切込み深さ (A) が小さくなります

## 正しい調整

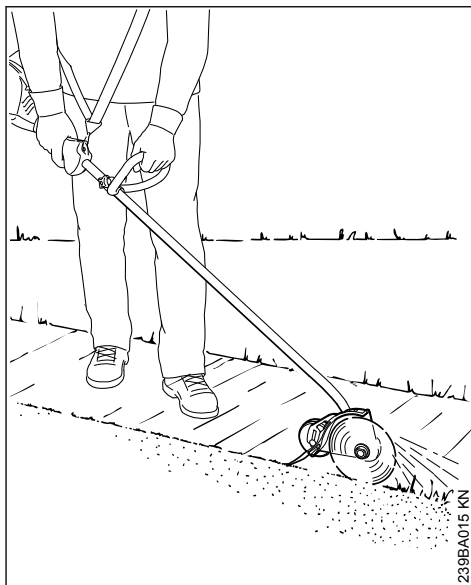


切込み深さは、土壌の凸凹、使用者の身長や作業時の姿勢に左右されます。このため、

- ▶ ブレード (3) が通常の作業姿勢でちょうど土に触れるか、または最大でも深さ (B) 5 mm まで土に入るようにホイール (2) をずらしします



- ▶ ウイングナットを時計回りに回して締め付けます
- ▶ 通常の作業姿勢で切込み深さを再度確認します - 必要に応じて再調整します

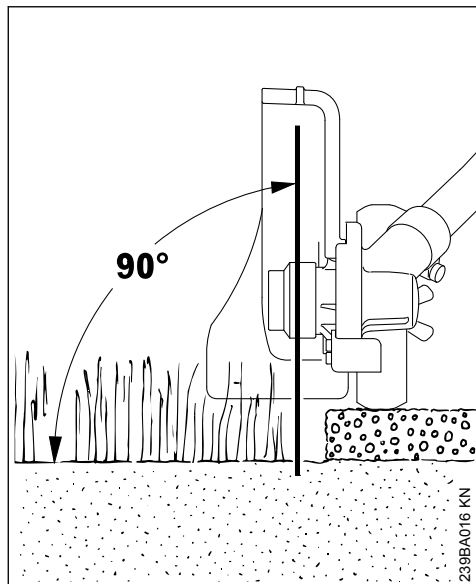


デフレクターはずらさないでください。

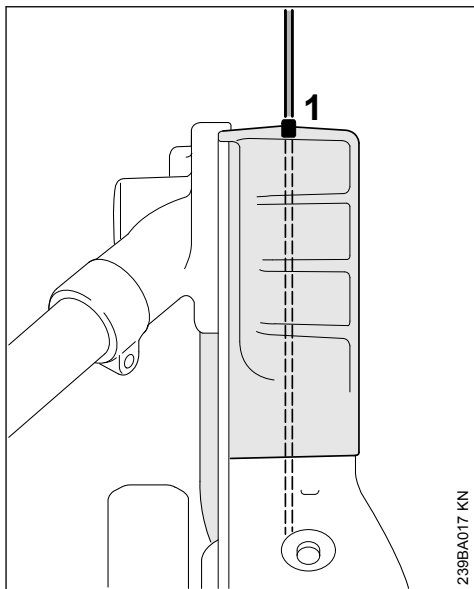
このデフレクターは工場出荷時に、デフレクターの矢印または開いた側が使用者とは反対の方向を向くように調整されています。このため、除去またはトリミングされた草がツールや使用者とは反対の方向に排出されるようになります。



### 4.3 エッジの切断



- ▶ エンジンを始動します
- ▶ 最低でもハーフスロットルで切断を開始し、常にフルスロットルで切断してください
- ▶ ツールは垂直に操作してください
- ▶ エンジン回転数が大きく低下しないように送り力を選択します - 強い力で押さないでください
- ▶ 送り速度が通常の歩行速度となるように選択します
- ▶ ブレードを土の中に押し込まないでください
- ▶ ツールは前方向にのみ押すようにし、手前に引き寄せないでください
- ▶ 均等に切断します - これによって何度も作業を繰り返す必要がなくなります



- ▶ 刃先のマーキングライン (1) にブレードを合わせます

## 5 承認されたコンビエンジン

### 5.1 コンビエンジン

STIHL 社が供給するか、STIHL 社がコンビツールとの使用を明示的に承認したコンビエンジンのみを使用してください。

このコンビツールは、次のコンビエンジンとの組み合わせのみで使用することができます：

STIHL KM 56 R、KM 85 R、KM 94 R、  
KM 111 R、KM 131、KM 131 R、KM 235.0 R、  
KMA 130 R、KMA 135 R、KMA 80.0 R、  
KMA 120.0 R



**警告**

ループハンドル付きの機器には、バー（バリアバー）が装着されている必要があります。

### 5.2 分離シャフト付き刈払機

このコンビツールは、分離シャフト付きの STIHL 刈払機（基本パワーツール、T モデル）にも装着できます。

そのため、このコンビツールは次のパワーツールでも使用が許可されています：

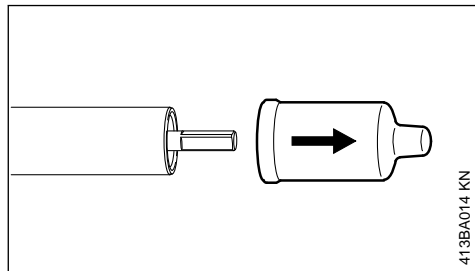
STIHL FR 131 T



**警告**

バー（バリアバー）の使用法については、パワーツールの取扱説明書を参照してください。

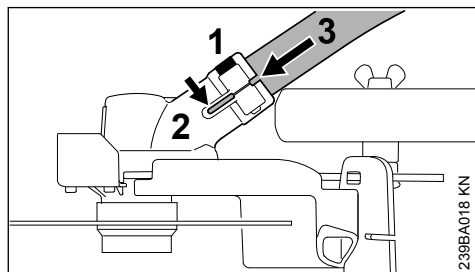
## 6 運転準備



413BA014 KN

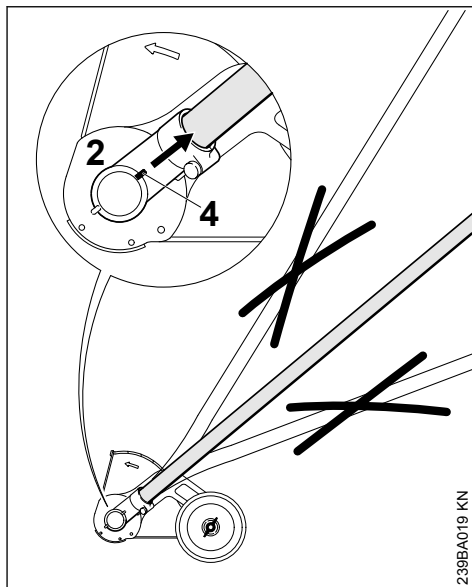
- ▶ シャフトの端に取り付けられたプロテクトキャップを取り外し、後で使用するために安全な場所に保管してください - 「機械の保管」を参照してください。

### 6.1 ドライブ チューブのギヤボックスへの接続



239BA018 KN

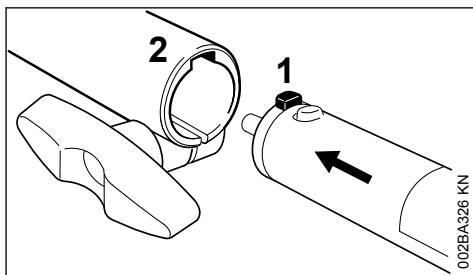
- ▶ ギヤボックスのスクリー (1) を緩めます - 取り外さないでください。
- ▶ ドライブ チューブ (3) のカーブした端をギヤボックス (2) に挿入します。必要に応じてギヤボックスを左右に回します。
- ▶ シャフト (3) を止まるまで押し込みます。
- ▶ スクリュー (1) を止まるまでねじ込みます - まだ締めないでください！



239BA019 KN

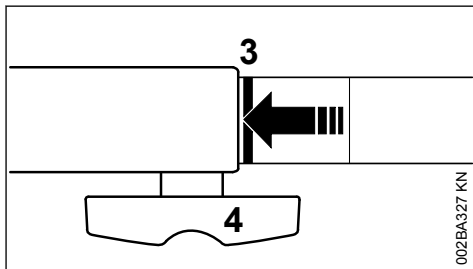
- ▶ ギヤボックス (2) の位置をシャフト上で合わせ、リブ (4) がシャフトに揃うようにします。
- ▶ スクリューでしっかりと締め付けます。

## 7 コンビツールの取付け



002BA326 KN

- ▶ ドライブ チューブの突出部 (1) をカップリングスリーブのスロット (2) に、止まるまで押し込みます。



002BA327 KN

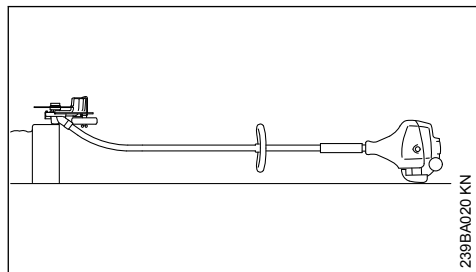
適切に取り付けると、赤線 (3) (矢印で示した部分) がカップリングスリーブの端とぴったり重なります。

- ▶ スターノブ (4) をしっかり締め付けます。

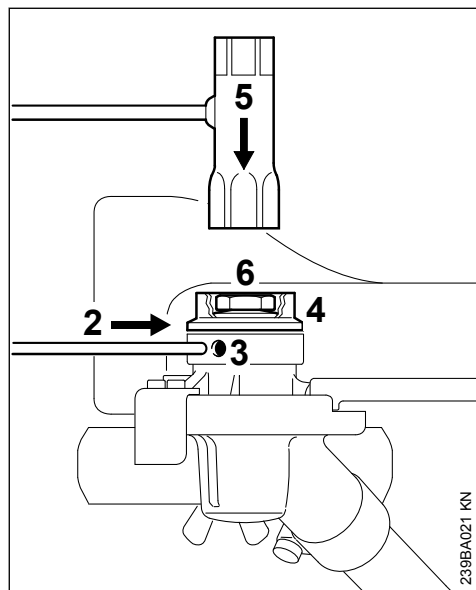
## 7.1 コンビツールの取外し

- ▶ ドライブチューブを取外すには、上記と逆の手順を行います。

## 8 カutting ブレードの取り付け

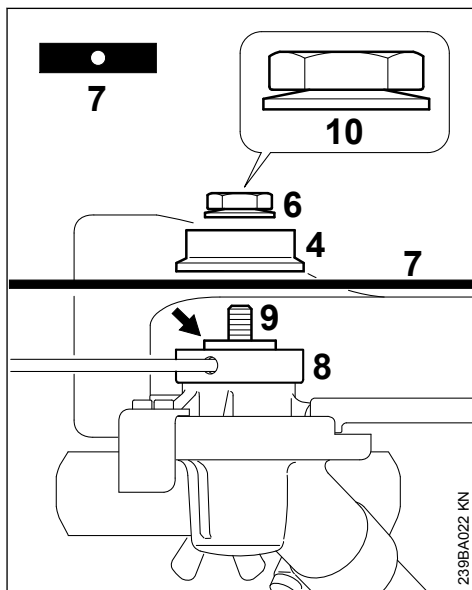


- ▶ ブレード取付け部 (1) が前を向くようにエッジャーを置きます



- ▶ できる限りロッキングピン (2) をボア (3) に挿入し、シャフトがブロックされるまで、軽く押しながらスラストワッシャー (4) と共に少し左右に回転させます。
- ▶ レンチ (5) をナット (6) に合わせます。
- ▶ ナットを時計回りに回し (左ねじ)、取り外します。

- ▶ スラストワッシャーを外します。



- ▶ ブレード (7) をスラストプレート (8) の上に置きます。

### 警告

カラー (矢印) をブレードの穴にかみ合わせる必要があります。

- ▶ スラストワッシャー (4) をシャフト (9) に取り付け、シャフトを固定します。
- ▶ ナット (6) をシャフト上で反時計回りに回し、締めます。

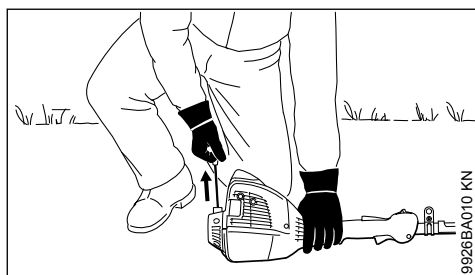
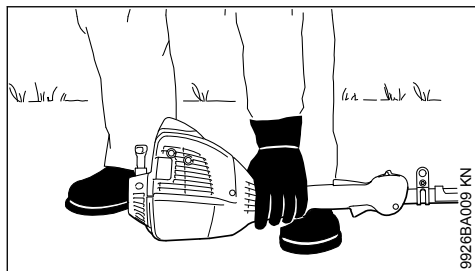
### 警告

ナット (6) のカップスプリング (10) が疲労していたら、ナットを交換する必要があります！

## 9 エンジンの始動と停止

### 9.1 エンジンの始動

エンジンを始動するには、基本的にコンビエンジンあるいは基本パワーツールの使用に関する指示に従ってください。



- ▶ 機械を安全な場所の地面に横にして置きます  
ブレードは地面やその他の障害物と接触しないようにしてください - **事故の恐れがあります!**
- ▶ 安定した足場を確保します - 立つか、膝を折るか、ひざまずく
- ▶ 機械を左手で地面にしっかり押し付けます - この時、コントロール ハンドルのコントロール エレメントに触れないようにしてください  
- コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください

#### 注記

シャフトの上に立ったり、膝を付いたりしないでください!



**警告**

エンジンが始動すると、運転開始してすぐにブレードが回転する場合があります - このため、エンジンがかかり次第、スロットル トリガーを軽く引いてください - エンジンがアイドリングを開始します。

その他の始動手順は、コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書に説明してあります。

## 9.2 エンジンの停止

- ▶ コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

## 10 機械の保管

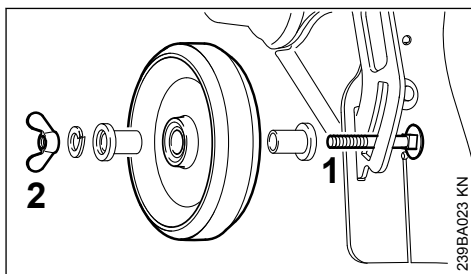
機械を約 30 日以上使用しない場合

- ▶ ブレードを取り外し、清掃し、点検します。
- ▶ コンビツールをコンビエンジンから分離して保管する場合: 連結部が汚れないようにシャフトに保護キャップを装着します。
- ▶ 機械を乾燥した安全な場所で保管してください。(子供など) 承認されていない人が使用しないように保護してください。

## 11 デプス ホイールの交換

摩耗したホイールは、サービス店で交換してください。STIHL では、認定を受けた STIHL サービス店のみにメンテナンスや修理を依頼することをお勧めしています。

### 11.1 ホイール

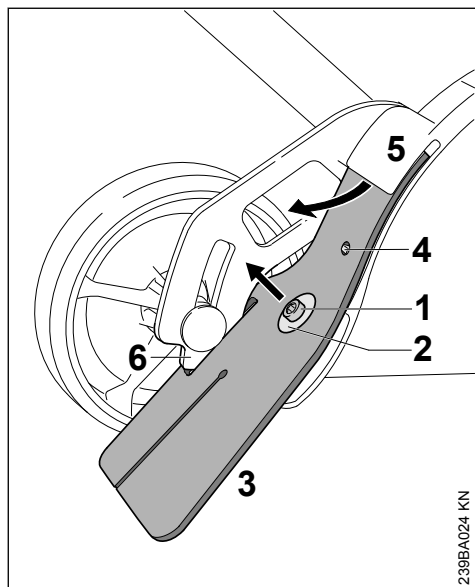


- ▶ スクリュー (1) のねじ端部の形状は、ウィングナット (2) がなくなならないように変形しています

ウィングナットは、非常に強い力を加えなければスクリューで回すことはできません。その後、部品を再び組み立てると、「紛失防止」機能は保証されなくなります。この場合、サービス店でスクリューとウィングナットを新品に交換してください。

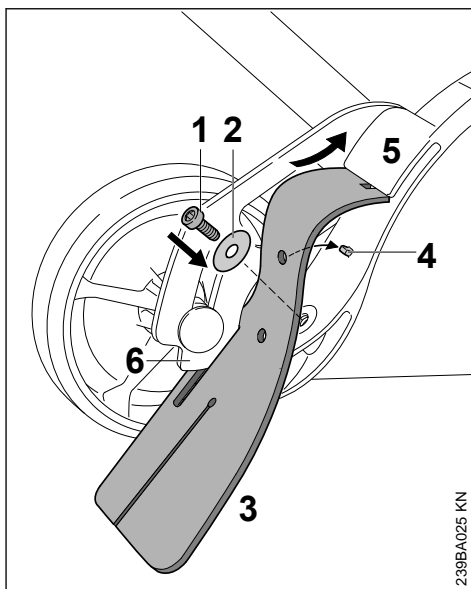
## 12 スカートの交換

### 12.1 スカートの取り外し



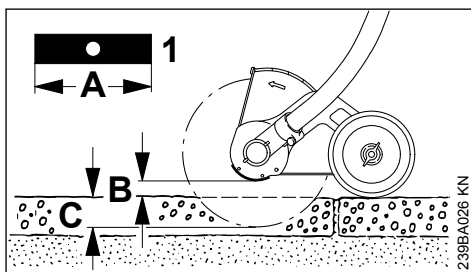
- ▶ スクリュー (1) を緩めて外します
- ▶ ワッシャー (2) を取り外します
- ▶ スカート (3) をセグメント (6) とデフレクターの溝 (5) から引き出します

### 12.2 スカートの取り付け



- ▶ スカートをデフレクターの溝に簡単にスライドできるようにするため、スカートの上部領域に樹脂フリーのオイルを薄く塗布してください
- ▶ スカート (3) をセグメント (6) に挿入し、デフレクターの溝 (5) に押し入れます - スカートの穴はピン (4) で固定されている必要があります
- ▶ ワッシャー (2) をスクリュー (1) に差し込みます
- ▶ スクリュー (1) をねじ込んで、締め付けます

## 13 カutting ブレードの交換



曲がったり、亀裂が入ったりしたブレードは歪みを矯正したり、溶接したりしないでください - 破損する危険があります! - このようなブレード

は交換する必要があります - 「ブレードの取り付け」参照。

STIHL では、以下の STIHL 純正ブレードのみのご使用をお勧めしています。

長さ	厚さ	記号
200 mm	2.4 mm	4133 / 01
200 mm	3.8 mm	4133 / 02

ブレードを研ぎ直さないでください！

- ▶ 地面との間隔 (B) が充分にある状態で切込み深さ (C) を調整できるだけのブレードの長さ (A) が確保できなくなったら、ブレード (1) を交換してください

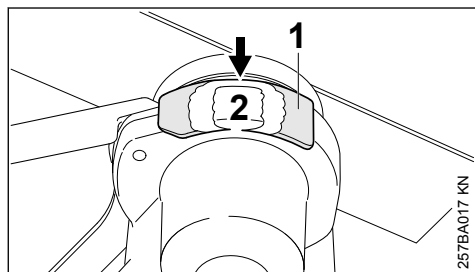
### 13.1 バランスの点検

不均衡の回避：

- ▶ サービス店で、STIHL バランス調整器 (オプションアクセサリ) によるブレードのバランス点検を依頼してください - STIHL では、バランス状態が悪い (不均衡) 場合、STIHL サービス店にてブレードを交換するようお勧めしています - 「ブレードの取り付け」参照

## 14 摩耗ガードの確認と交換

### 14.1 摩耗ガードの確認

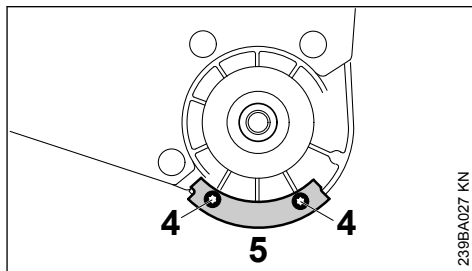


- ▶ 機械を始動する前に、摩耗ガード (1) が損傷していないことを確認してください。
- ▶ 最低でも、ギヤボックス (2) が見えるようになったら (矢印)、摩耗ガードを交換してください。

#### 注記

摩耗したガードを適切な期間に交換しなかった場合は、ギヤボックスの深刻な損傷の原因となる場合があります。

### 14.2 摩耗ガードの交換



- ▶ ブレードを取り外します - 「ブレードの取り付け」を参照してください
- ▶ スクリュー (4) を緩めます
- ▶ 摩耗ガード (5) を交換します
- ▶ スクリュー (4) を回し、締め付けます
- ▶ ブレードを取り付けます - 「ブレードの取り付け」を参照してください

## 15 整備表

次の項目は、通常の使用条件の場合に適用されます。毎日の作業時間が通常よりも長い場合、あるいは作業条件が悪い場合 (非常に埃の多い場所など) は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。

### 手の届くすべてのスクリュー、ナットおよびボルト

- ▶ 点検して、必要に応じて再度締め付けます

### ホイール

- ▶ 作業開始前の目視検査
- ▶ 作業開始前にウィングナットが固定されていることを確認します
- ▶ 必要に応じて交換します - 「ホイールの交換」を参照してください

### スカート

- ▶ 作業開始前の目視検査
- ▶ 損傷している場合は交換します - 「スカートの交換」を参照してください

### ブレード

- ▶ 作業開始前の目視検査
- ▶ 作業開始前にこれが固定されていることを確認します

- ▶ 必要があれば、バランスが崩れていないことを確認するためチェックしてもらってください。バランスが崩れていれば交換してください - 「ブレードの交換」を参照してください。
- ▶ 損傷している場合は交換します - 「ブレードの交換」を参照してください

### 摩耗ガード

- ▶ 作業開始前の点検
- ▶ 必要があれば交換してください - 「摩耗ガードの確認および交換」を参照してください

### 安全情報ラベル

- ▶ 判読できない安全情報ラベルを交換します

## 16 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書とコンビエンジンの取扱説明書の記述を遵守して使用すると、パワーツールの過度の磨耗や損傷が回避されます。

パワーツールの使用、整備並びに保管は、これらの取扱説明書の記述に従って十分な注意をはらって行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容および警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

### 16.1 整備作業

「整備表」の章に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

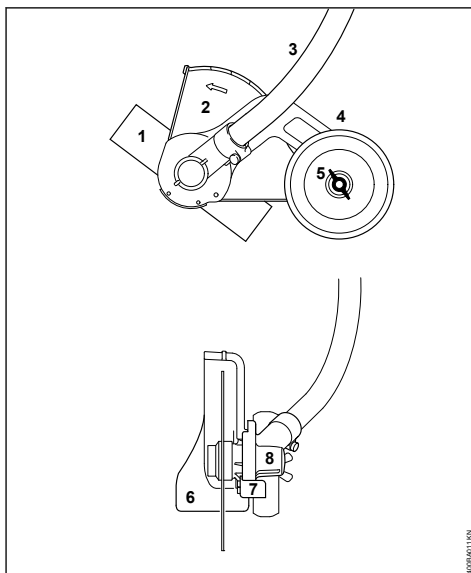
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる当製品の損傷。

## 16.2 磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- ブレード (全種)
- ブレード固定用パーツ
- デフレクター、スカート
- 摩耗保護具

## 17 主要構成部品



- 1 ブレード
- 2 ガード
- 3 シャフト
- 4 ホイール
- 5 ウィングナット
- 6 スカート
- 7 摩耗ガード
- 8 ギヤボックス

## 18 技術仕様

### 18.1 回転数

コンビエンジンを使用したカッティングツールの出力シャフトの最大回転数：

KM 56 R:	8100 rpm
KM 85 R:	8500 rpm

KM 94 R:	8300 rpm
KM 111 R:	8000 rpm
KM 131:	8500 rpm
KM 131 R:	8500 rpm
KM 235.0 R:	9000 rpm
KMA 130 R:	6900 rpm
KMA 135 R:	6900 rpm
KMA 80.0 R:	6900 rpm
KMA 120.0 R:	6900 rpm

分離シャフト付きの STIHL 刈払機 (T モデル) の場合のカッティングツールの出力シャフトの最大回転数:

FR 131 T:	8100 rpm
-----------	----------

## 18.2 重量

デフレクターおよびブレードを含 2.0 kg  
む:

## 18.3 騒音・振動数値

コンビツール FCB-KM 装備のパワーツールにおける音響値・振動値は、アイドリング回転数と最大定格回転数の運転状態を等しくして測定したものです。

振動に関する事業主への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

[www.stihl.com/vib](http://www.stihl.com/vib) をご覧ください。

### 18.3.1 ISO 11201 に準拠した音圧レベル $L_{peq}$

ループハンドル付き KM 56 R:	94 dB(A)
ループハンドル付き KM 85 R:	96 dB(A)
ループハンドル付き KM 111 R:	95 dB(A)
バイクハンドル付き KM 131:	97 dB(A)
ループハンドル付き KM 131 R:	98 dB(A)
ループハンドル付き KM 235.0 R:	99 dB(A)
ループハンドル付き KMA 130 R:	78 dB(A)
ループハンドル付き KMA 135 R:	79 dB(A)
ループハンドル付き KMA 80.0 R:	82 dB(A)
ループハンドル付き KMA 120.0 R:	82 dB(A)
FR 131 T:	97 dB(A)

### 18.3.2 ISO 11789 に準拠した音圧レベル $L_{peq}$

ループハンドル付き KM 94 R:	92 dB(A)
--------------------	----------

### 18.3.3 ISO 3744 に準拠した音響パワーレベル $L_{weq}$

ループハンドル付き KM 56 R:	104 dB(A)
ループハンドル付き KM 85 R:	108 dB(A)
ループハンドル付き KM 111 R:	105 dB(A)
バイクハンドル付き KM 131:	106 dB(A)
ループハンドル付き KM 131 R:	106 dB(A)
ループハンドル付き KM 235.0 R:	108 dB(A)

ループハンドル付き KMA 130 R:	93 dB(A)
ループハンドル付き KMA 135 R:	99 dB(A)
ループハンドル付き KMA 80.0 R:	98 dB(A)
ループハンドル付き KMA 120.0 R:	98 dB(A)
FR 131 T:	106 dB(A)

### 18.3.4 ISO 11789 に準拠した音響パワーレベル $L_{weq}$

ループハンドル付き KM 94 R:	104 dB(A)
--------------------	-----------

### 18.3.5 ISO 11789 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KM 56 R:	5.5 m/s <sup>2</sup>	6.6 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KM 85 R:	3.2 m/s <sup>2</sup>	6.0 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KM 111 R:	3.8 m/s <sup>2</sup>	3.0 m/s <sup>2</sup>
バイクハンドル付き KM 131:	3.0 m/s <sup>2</sup>	3.4 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KM 131 R:	4.1 m/s <sup>2</sup>	4.5 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KM 235 R:	4.8 m/s <sup>2</sup>	4.8 m/s <sup>2</sup>
FR 131 T:	2.6 m/s <sup>2</sup>	2.4 m/s <sup>2</sup>

### 18.3.6 ISO 22867 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KM 94 R:	3.8 m/s <sup>2</sup>	4.3 m/s <sup>2</sup>

### 18.3.7 EN 20643 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KMA 130 R:	3.5 m/s <sup>2</sup>	2.0 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KMA 135 R:	1.8 m/s <sup>2</sup>	3.6 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KMA 80.0 R:	3.5 m/s <sup>2</sup>	1.8 m/s <sup>2</sup>
ループハンドル付き KMA 120.0 R:	3.9 m/s <sup>2</sup>	1.7 m/s <sup>2</sup>

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s<sup>2</sup> です。

## 18.4 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (CHemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。



www.stihl.com


## 19 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

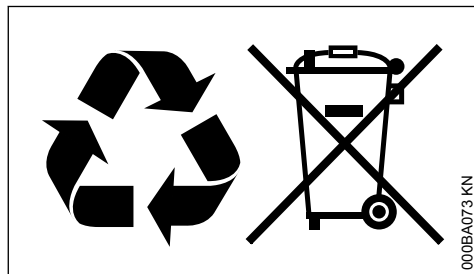
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボル マーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

## 20 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

## 21 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstr. 115  
D-71336 Waiblingen  
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

モデル :	コンビツール エッジ ヤー
製造ブランド :	STIHL
タイプ :	FCB-KM
シリアル番号 :	4180

指令 2006/42/EC の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします :

EN ISO 12100 ( 指定されたコンビエンジン KM および背負式刈払機 FR モデルと併用 )

EN ISO 12100, EN 60335-1, EN 50636-2-92( 指定されたバッテリーコンビモーター KMA モデルに関連して )

技術文書の保管 :

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Produktzulassung

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2022 年 9 月 19 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs  
& Global Governmental Relations

## 22 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstr. 115  
D-71336 Waiblingen  
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

モデル :	コンビツール エッジ ヤー
製造ブランド :	STIHL
タイプ :	FCB-KM
シリアル番号 :	4180

英国規則 Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008 の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします :

EN ISO 12100 ( 指定されたコンビエンジン KM および背負式刈払機 FR モデルと併用 )

EN ISO 12100, EN 60335-1, EN 50636-2-92( 指定されたバッテリーコンビモーター KMA モデルに関連して )

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2022 年 9 月 19 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Robert Olma'.

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs  
& Global Governmental Relations





[www.stihl.com](http://www.stihl.com)



0458-471-4321-B



0458-471-4321-B